

「平成」から

「令和」へ



桜川市議会 議長 仁平 実

市民の皆様には、我々の議会活動に対し、ご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

5月1日から、新元号が「令和」となり、新たな時代が幕を明けました。

桜川市は、平成17年10月に誕生し、あと数ヶ月で14年が経過しようとしているところ

であります。市民の皆様一人おひとりにおかれましては、平成の時代での出来事に対し、様々な想いがあることと思っております。こうした時代の変化の中で、本市に見合った、そして、令和となった新時代を生活していくための施策が数多く展開されており、議会といたしましては、議決機関

としての役割と責任をしっかりと果たして参りたいと、決意を新たにしているところでございます。

最後になりますが、市民の皆様、そして本市にとりまして、充実した毎日の中で、新たな時代が築かれていきますことをご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



桜川市長 大塚 秀喜

市民の皆様には、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新元号「令和」を迎え、これまでの「平成」の時代を振り返りますと、平成17年10月に、岩瀬町・大和村・真壁町が合併し「桜川市」が誕生しました。その後、北関東自動車道の桜川筑西ICの開

通や、真壁の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことなどがあつた一方で、東日本大震災という大きな災害もありました。また、広域連携バス「ヤマザクラGO」の運行開始、桃山学園の開校や、さくらがわ地域医療センターの開院などがありました。現在は、市内に自生

するヤマザクラ55万本を活用したまちづくりを推進するとともに、小・中学校の適正配置の推進、桜川筑西IC周辺地区の新たな都市拠点形成などにも取り組んでおります。

「令和」という新たな時代が、市民の皆様にとりまして素晴らしい時代となりますよう心からご祈念申し上げます。

＊ CONTENTS

- 02 平成から令和へ
- 03 SAKURAフェスティバル開催
浅賀正治さんがブルガリア共和国から「黄金の月桂樹」を受賞
- 04 平成 31 年度当初予算
- 06 いばラッキー通信 vol.10
駐日モンゴル国大使が桜川市を訪問
- 07 まちの話題
- 08 桜川市職員の人事異動
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 雨引の里と彫刻 2019

＊ 表紙

雨引の里と彫刻 2019



表紙写真は、6月9日まで開催されている「雨引の里と彫刻2019」で展示されている作品の一部を撮影したもので、本紙16ページでも作品を紹介しています。

新緑の季節に、多くの作品に出会える絶好の機会ですので、お気に入りの作品を探してみてくださいはいかがでしょうか。

＊ 桜川市の人口と世帯

- 【人口】 41,840 人 (−136)
- 【男】 20,764 人 (−57)
- 【女】 21,076 人 (−79)
- 【世帯】 15,374 世帯 (+25)

() は対前月増減

住民基本台帳

平成 31 年 4 月 1 日現在